

は ぐ く む

育 夢



深く考える子 思いやりのある子 強くたくましい子

令和4年9月6日（火）

学校評価へのご協力、ありがとうございました

校長 三村 文 弥

夏休み前に行った学校評価の結果についてお知らせいたします。今回は、保護者・児童・教職員の三者の評価を比べることができるように、評価項目を揃えてアンケートを行いました。三者が同じように評価している項目があれば、評価にずれがある項目もあります。結果について、よくお読みになっていただければと思います。

今後の学校運営の改善に活かしてまいりますので、引き続きご理解・ご協力をお願いいたします。

令和4年度 前期学校評価結果（三者の比較）					
	保護者（19）	児童（26）	教職員（11）		
わかりやすく・楽しい	3.3	3.2	3.6	深く考える子	<p>「深く考える子」では、教職員に比べて、保護者・児童の自己評価が低い結果となっています。この結果を真摯に受け止め、さらに授業改善を図っていきます。</p> <p>家庭学習習慣と読書習慣は、全体的に低い評価となっていますが、読書に関してみると児童は3.1ポイントとなっています。大人に比べると、子どもたちは読書をしているという自覚を持っているようです。</p> <p>三者が、家庭学習の取り組みについて今ひとつという一致した評価をしているので、2学期には力を合わせて家庭学習の改善を図ることができると考えます。まずは、学校からアプローチできるように取り組んでいきます。</p>
学習規律・基礎基本	3.1	3.2	3.8		
家庭学習習慣	2.4	2.8	2.9		
主体的な学び	3.0	3.4	3.3		
読書習慣	2.3	3.1	2.9		
あいさつ・返事	3.3	3.3	3.4	思いやりのある子	
規範意識・やさしい心	3.6	3.2	3.2		
いじめ防止	3.4	3.7	3.8	強くたくましい子	<p>「思いやりのある子」「強くたくましい子」は、三者とも評価が高い結果となりました。特に「いじめ防止」「体力向上」の児童の自己評価は3.7となっています。「いじめのない学校にしよう」という1学期の取り組みの成果が表れています。</p> <p>「メディアリテラシー」については、教職員の自己評価が低い結果となりました。ICT教育の土台となる部分でもありますので、2学期の課題の一つとして取り組んでいきます。</p> <p>教職員の自己評価では、「服務規律保持」が高い結果となりました。当然のことではありますが、引き続き、自律した職員が自立できる児童を育てられるよう協力して取り組んでいきます。</p>
体力向上	3.4	3.7	3.8		
基本的生活習慣	3.4	3.2	3.5		
安全指導	3.4	3.5	3.7	連携	
地域学習	3.2		3.0		
情報発信・家庭との連携	3.3		3.3	資質・能力	
メディアリテラシー	3.2		2.6		
校内研修・授業改善			3.4		
学級経営の評価・改善			3.4	組織の充実	
服務規律保持			3.9		
教育目標・教育計画のPDCA			3.4		
分掌業務の連携・協働			3.5		
働き方改革			3.4		

: 3.5P以上

: 3.0P未満 改善を要する項目

: 評価の差が0.4P以上

○いつも子どもたちを温かく見守り、ご指導いただきありがとうございます。今年度に入って早々、担任の先生が代わったことに対しては、もう少し早い段階での対応があると嬉しかったです。先生方との意思疎通をとることがなかなか難しいご時世ですが、子どもたちのためにも、私たちから発信できることはしていかなくてはと思っております。今後ともよろしくお願いいたします。

年度はじめでの対応を準備しておりましたが、休校や全校参観日・PTA 総会の中止に伴ってお知らせが遅れる結果となり、大変御迷惑をおかけいたしました。子どもたちが安心して学び続けられるよう、意思疎通を図る努力を続けてまいります。

○いくつかの教科を担当ではなく、支援クラスの先生が受け持っていると聞きますが、担任を受け持った以上、自分が授業をやっていなくても、自分のクラスの子どもたちがどう活動しているのか気にしてみしてほしいです（その授業中は教室に来ることがないと聞き、気にならないのか不思議に思います）。

授業をしていない時間には、宿題や家庭学習のチェック、テストの採点、作文や作品などの評価や授業の準備などに専念しております。時間的なゆとりが生まれることで、休み時間に子どもたちと一緒に過ごすなど、児童と向き合える時間が増えています。授業での児童の様子については、情報共有を図り、一人一人の児童について多くの教職員が共通理解を持つことができるように努めています。学校全体で、子どもたちに寄り添った教育ができるよう業務改善に取り組んでまいりますので、ご理解のほど、よろしくお願いいたします。

○体調が悪く休んだ際、体調はどうかなどの連絡が一切ない。こちらも気にならないのか不思議に感じます。コロナの可能性を考えて、詮索しないようにと学校としての対応策なのでしょうか。

欠席時に、きょうだい関係などで健康状態についての情報が届いている場合には、体調をお伺いすることを控えることもありますが、夕方、改めて担任から連絡し、体調の確認など本人や保護者とお話をする機会を設けるべきでした。欠席することの不安を和らげ、安心して登校できるよう家庭と連絡・連携をしっかりとるようにしていきます。

また、新型コロナウイルスに罹患した場合は、ご家庭から学校へ連絡していただきたいと思えます。長期休業中でも、同様に連絡していただくと助かります。

○絵本の読みきかせは、なぜ低学年だけなのでしょう。選択する絵本によっては、高学年にも大切な時間になると思います。

読みきかせは、月に2回程度、水曜日の朝活動の時間に3年生以下で取り組んでいます。4年生以上は、同じ時間に委員会活動に参加しています。ご指摘のとおり、読みきかせは、高学年児童にとっても価値のある活動ですが、教育活動全体の中で他の活動を優先する形となっております。ご理解をいただければと思います。

OiPadの利用について、インターネットの閲覧やSNS等個人的なやりとりについて、フィルターをかける等の対策が一切ない上、子どもたちにきちんとしたルールの徹底もないまま、自宅に持ち帰らせるのは無責任な対応に感じます。

OiPadに頼りすぎず、子どもたちにはもっと実体験が必要に感じます。せっかくのごく近くにある大自然を、もっと活用すべきと思います。

西興部村の児童用 iPad については、Google のフィルタリング機能によってインターネットの閲覧に制限がかかっています。また、SNS については、メールやチャットなどの機能が使えないほか、Twitter や Line など新たなアプリをダウンロードすることも基本的にはできません。クラスルーム上で個人的な書き込みは可能ですが、クラス全員が閲覧できるようになっており、教師も内容を把握することができます。しかし、ご指摘の通り「メディアリテラシー」についての教職員自己評価は、低い結果となっています。ルールの定着・徹底を2学期の課題の一つとして取り組んでまいります。

西興部の恵まれた自然環境を生かしての教育については、子どもの心身の健やかな成長を支える非常に大切なものであると認識しております。地域の教育資源を生かした地域学習・ふるさと教育の充実に向けて検討を重ねてまいります。

○アンケートの回答に当たり、「どちらともいえない」という選択肢がほしかったです。

情報が足りず、評価することが難しい項目があるかもしれません。大変失礼をしております。学校の取り組みや子どもたちの成長が伝わるよう、さらに尽力してまいります。個人個人にとってはおおまかな評価であっても、積み重なることで全体としての傾向をつかむことができると考えております。全項目での評価にご協力をお願いいたします。

○運動会のグラウンド水抜き作業、休日の雨の中、本当にありがとうございました。

○いつもお世話になっています。コロナ禍の中、運動会、遠足、修学旅行などの学校行事を進めていただき感謝しております。たくさんの楽しい時間や経験ができたのではと思っています。

○西小ブログ、毎日楽しみにしています。授業風景や係活動など、学校での生活を知ることができ、子どもと一緒に見ながら会話もできるので嬉しいです。今後ともよろしく願いいたします。

今年度は、様々な教育活動に取り組むことができ、子どもたちの笑顔を見られる場面が増えて、ほっとしております。また、PTA 活動でも、「運動会の奉仕作業」「夏休みのラジオ体操」「花火大会」と会員同士が共に汗を流すことで、子どもたちは多くの経験を積むことができました。担当者・参加者の皆様の尽力に感謝いたします。

PTA に関しては、10月8・9日にオンラインで開催される「第69回日本PTA北海道ブロック研究大会オホーツク北見大会」で、西興部小中学校 PTA の活動を発表いたします。どなたでも視聴できますので、ぜひご覧になってください（視聴方法は後日お知らせ）。

小さな努力に目を向けてくださることで、職員も自信を持って職務にあたることができます。ありがとうございます。今後とも、本校の教育活動へのご理解・ご協力をよろしく願いいたします。